

地域経済波及効果が高い



一般質問する松浦議員

となり補助金額の25倍となる。市内の中小業者を中心に地域経済対策としても波及効果が高いとの見解を示しました。

日本共産党としては、「長年にわたり、一般質問や予算議会などで取り上げてきた。この制度がスタートしたばかりだが、経済波及効果があることが実証された」として、今後さらなる周知を行い利用が増加するよう引き続き取り組みを強めるよう求めました。

松浦議員は、6月議会一般質問で4項目の質問を行いました。住環境改善補助金制度（住宅リフォーム助成）では、建設関連業者への制度説明の方法と申請状況について質問しました。

新婦人フェスタ 開催される！

6月27日に北コミセンで新婦人フェスタが開催されました。水中ウォークやストレッチ等のサークルの様子を知らせるポスターや、絵手紙、パッチワーク、編み物などの作品が展示され、体験会もありました。会場のあちこちで、やってきた市



にぎやかに楽しく行われた“新婦人フェスタ”



民に新婦人の活動を紹介したり、終活や憲法の大切さを語り合う人たちにぎわっていただきました。お昼にはすみ汁などがふるまわれ、また近くに選挙の候補がやって来ると聞いて「新婦人の会の目的は、憲法改悪に反対」や「女性の権利や子どもへの幸せ」だよ。何て言ってるか聞きに行こう」と誘い合って会場から抜け出す人たちもいました。楽しい活動も、政治への参加も大事だ、と日ごろ語り合っている新婦人らしさを実感した一日でした。

松浦奮戦メモ

6月議会最終日（23日）の本会議で「結政の会」の金兵議員から「小田部照議員及び志誠会に対し猛省を求め」る動議が出され、所定の賛成があり成立しました。直ちに追加案件とすることを採決し、休憩して決議案を配布している中、小田部議員と志誠会の議員が退席してしまいました。本来は決議案を聞いて、採決が行われる段階で退席する

のが筋だと思うのですが、決議案の内容を知る前に退席したため、理由が分からないうちに退席したことになります。その後、報道各社に志誠会の井戸会長名でコメントを出しました。しかし、決議で指摘している内容との外れの内容となっていたのは、そのためでしょうか。いずれにしても「小田部照議員と志誠会に対し猛省を求め」る決議案は出席議員10名全員一致で可決されました。

流氷

DV被害の相談から

夫による妻へのDV（言葉の暴力を含む）の相談が持ち込まれました。妻はシェルター（江戸時代の駆け込み寺）に入所し、一時的にDVから逃れる事ができました。夫（加害者）は代用監獄から出所後、内に妻の所在を確認するために、手当たり次第に嗅ぎまわりました。こんな恐怖から、妻や身内は自ら裁判所に訴え、親族への保護命令を申請し許可された。

▼文章にすれば簡単だが、妻にとつてはあつと言わぬ苦しい1ヶ月、2ヶ月でした。ましてや50・60歳の被害者の場合、助けを求めた親は70・80歳代であるために、過去に何度も連れ戻されて体力的にかばうことができなくなっていました。▼身内や弱者、高齢者に対する暴力は、毅然とした対応をして、許さないことです。シェルターを利用し、弁護士や、裁判所に依頼して第1に、自ら身を守ること第2に、自立への一歩を周りの人たちの協力を得て進むこと第3に、いやなことが起きてても常に希望を失わないことです。加害者の行為を許さない行動を取ることです。

北見生活と健康を守る会
網走班 班長 神田優